

きくどら祭で自衛隊車両とブルーインパルス！



子供は自衛隊スタンプに夢中！



気分はまさに「自衛官」

神奈川地方協力本部横浜出張所（所長 赤塚3陸佐）は、10月18日（日）、菊名ドライビングスクール（横浜市港北区）で行われた「きくどら祭」に初参加し、自衛隊車両や災害派遣パネルを展示し、広報活動を実施した。

同イベントは今年で13回目となり、警察や消防など様々な車両が参加する中、子供たちは普段あまり見ることのないOD色の車に興味津々で、自衛隊車両の前には子供たちの列ができ、ヘルメットを撮る保護者の姿も多く見られた。当日は、観艦式に参加した「ブルーインパルス」も新横浜上空を飛行し、お祭りに華を添える形となった。参加者からは、「とても貴重な体験ができた」「初めてブルーインパルス見ました」との声も聞かれ、有意義な一日となった。

横浜出張所は、「今後も、地域に密着した活動に積極的に参加し、自衛隊の活動に対する理解を深めていきたい」としている。

中原区民祭で航空ヘルメット大人気



設置された募集看板

神奈川地方協力本部川崎出張所（所長 縣1陸尉）は、10月18日（日）、等々力緑地（川崎市中原区）において開催された「第37回中原区民祭」において自衛隊広報ブースを設置し、広報活動を実施した。

当日は天候にも恵まれ、大勢の人が来場し、同ブースにも多数の家族連れが訪れ、災害派遣パネルや南極の氷、非常用糧食等を興味深く見学していた。また、写真撮影コーナーでは、迷彩服を試着し、小型トラックを背景にした撮影に行列ができる盛況を見せ、参加者は笑顔で写真撮影を行っていた。特に、今年はヘリパイロット出身の所長が航空ヘルメットを用意したところ、子供達からは、「かっこいい」「将来はパイロットになりたい」などの興味津々な言葉を多数聞くことができた。

川崎出張所は、「今後も、市民と一体化を図る募集広報活動に全力で取り組んでいきたい」としている。

第35回宮前区民祭で野外炊事



豚汁を調理する隊員



制服の試着に並ぶ子供たち



豚汁の無料配布の様子

神奈川地方協力本部溝の口募集案内所（所長 倉橋准陸尉）は、10月18日（日）、第35回宮前区民祭（川崎市宮前区）に参加した。

区民祭は、毎年恒例のイベントで、区内のさまざまな団体による出店や展示、ステージでのパフォーマンスに、区のPRキャラクター「宮前兄妹」の参加や川崎フロンタールの選手のサイン会も行われ、人気のお祭りである。

広報ブースでは、自衛隊の活動状況を広報し、災害派遣での被災者に対する支援の要領を説明するとともに、制服試着やパネル展示、広報官による野外炊具2号（改）で調理した豚汁の無料配布を実施した。豚汁は、約700人分用意したが、余すことなく市民に行き渡り、主婦からは「私の作った味噌汁よりおいしい」との声もあり、大好評であった。また、川崎市長や川崎北募集相談員会長（山田氏）が激励に訪れるなど、自衛隊ブースは大盛況であった。

溝の口募集案内所は、「今後も、多くの方へ自衛隊の理解を深め自衛官募集広報に繋げていきたい」としている。